



2024年度3月号 社会福祉法人 尚徳福社会 保育園川崎ペアーズ

いよいよ3月！まだ朝晩は冷え込みますが少しずつ暖かい風を感じるようになりました。春はもうすぐですね。こぐま組で過ごす時間も残り1か月となりました。子どもたちと楽しい思い出をたくさん作りながら期待を持って進級できるよう充実した日を送りたいと思います。

1年を振り返って

この1年で子どもたちはたくましく成長しましたね。進級当初はまだ1人で難しかったことも今では身のまわりのことを進んで取り組んでいます。

着替えも自らカゴから出しています。始めは衣服の前後も「こう？あってる？」と確認しながらしていましたが今では「できるよみてて」と意欲的です。脱いだ衣服を丁寧に畳む様子も見られます。自分のことは自分で最後まで取り組み自信に満ちた姿がたくさん見られるようになりました。

友だちとの関わりの中では泣いている子や転んでしまったときは「だいじょうぶ？」と声をかけ心配する様子や頭をなでる姿、玩具をどうぞと譲る姿なども見られ言葉のやり取りも増えてきました。これからの成長が楽しみです。



☆室内遊び☆

気温が低く室内で過ごす日が多くなっていました。ホール遊びだけでなく1階の廊下やりす組、うさぎ組の部屋を使ってさまざまな遊びや異年齢児との交流をしました。うさぎ組のお友だちから「コンピカーを貸して」と言われると代わってあげたり、滑り台の順番を譲ったりなど優しい姿も見られました。ホールではトンネルをゴールに見立ててバスケットを楽しみました。集団遊びではバランスボールを使って大玉転がしをして遊び方を考え工夫し盛り上がることができました。

～ひなまつり制作～

コーヒーフィルターにマーカーを塗ってその上から霧吹きをしました。色をにじませると大喜びの子どもたち。にじむ範囲が広がっていくとペタペタ触って感触を確かめていました。その後和紙をちぎって手先や指先を使い楽しんでいました。目や口を自分たちで描き、のりを使って完成させると作品を見せ合って喜んでいました。



お部屋探検たのしいな

保育園にどんなお部屋があるか探検しました。来年進級するばんださんのお部屋を見ると「つぎこのおへやでしょ」と進級を楽しみにする様子が見られました。特にぞう組のお部屋に興味があるようでテーブルや椅子の大きさを見ると「すごいおおきいねえ」と感心していました。ぞう組のお兄さん、お姉さんに中を案内されると使っている玩具に興味津々でした。「はやくねんちょうさんになりたいね」と憧れる姿も見られました。